



## 2019年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月1日

上場会社名 クリエイトメディック株式会社

上場取引所 東

コード番号 5187 URL <http://www.createmedic.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 佐藤 正浩

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 管理本部長 (氏名) 橋井 敦 TEL 045-943-2611

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 2019年9月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第2四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	5,158	3.6	471	5.3	448	7.4	306	10.4
2018年12月期第2四半期	5,350	6.7	497	26.2	483	23.9	341	32.5

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 194百万円 (14.7%) 2018年12月期第2四半期 169百万円 (2.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	32.86	
2018年12月期第2四半期	36.67	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第2四半期	17,076	12,884	75.5	1,383.20
2018年12月期	17,237	12,886	74.8	1,383.31

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 12,884百万円 2018年12月期 12,886百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		16.00		21.00	37.00
2019年12月期		17.00			
2019年12月期(予想)				20.00	37.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,930	1.2	1,000	0.6	1,010	1.0	700	4.1	75.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4)四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期2Q	9,664,327 株	2018年12月期	9,664,327 株
期末自己株式数	2019年12月期2Q	348,960 株	2018年12月期	348,960 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期2Q	9,315,367 株	2018年12月期2Q	9,315,423 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	P. 3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(会計方針の変更)	P. 9
(追加情報)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善傾向となり、設備投資も底堅く推移するなど、緩やかな回復基調が継続しました。世界経済につきましては、米中通商問題の影響が拡大し、中国を中心に不透明感が高まりました。

国内の医療機器業界におきましては、高齢化の進展に伴い需要が拡大する一方、国の医療制度改革を背景とした市場での企業間競争により、販売価格の低下が継続しております。一方、経済発展の続く新興国を中心とした海外市場は、引き続き低侵襲治療に対するニーズの高まりにより、医療機器の市場は拡大しております。

このような環境の下、国内の自社販売については、中期経営計画において重点分野と位置付けた泌尿器系製品を中心に販売強化に注力しました。また、海外販売では営業体制を強化するとともに、マーケティングに注力し、売上増強に努めてまいりました。一方、生産では引き続き原価低減活動を推進するとともに、品質の向上・安定に努めてまいりました。

これらの活動により、売上高につきましては、中国向けは好調を維持したものの、OEM販売における一部製品の契約終了が大きく影響したことに加え、自社販売もわずかに前年を下回る結果となったことなどから、グループ全体で前年を下回る結果となりました。

一方、利益面につきましては、生産拠点間の生産品目の最適化や海外子会社の原価低減策が功を奏し、原価率は低下したものの、販売数量の減少に伴い売上総利益が減少したことや、戦略的な人件費の上昇や研究開発費の増加などにより、前年を下回る結果となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高5,158百万円（前年同期比3.6%減）、営業利益471百万円（前年同期比5.3%減）、経常利益448百万円（前年同期比7.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益306百万円（前年同期比10.4%減）となりました。

販売形態別の販売状況は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第2四半期連結 累計期間	当第2四半期連結 累計期間	前年同期比	
			金額	増減率
自社販売	3,108	3,107	△0	△0.0%
海外販売	1,392	1,441	48	3.5%
OEM販売	849	609	△239	△28.2%
合 計	5,350	5,158	△191	△3.6%

< 自社販売 >

自社販売は、フォーリートレイキットを中心に泌尿器系製品が好調に推移したものの、消化器系製品の市場競争が激しさを増したことなどにより、売上高3,107百万円（前年同期比微減）となりました。

< 海外販売 >

海外販売は、欧州向けの消化器系製品などが、前年好調の反動もあり一時的に減少しましたが、中国市場での販売が、泌尿器系や消化器系製品を中心に全般に売上を伸ばしたことから、売上高1,441百万円（前年同期比3.5%増）となりました。

< OEM販売 >

OEM販売は、血管系製品の一部契約終了が影響し、売上高609百万円（前年同期比28.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して161百万円減少し17,076百万円となりました。これは、商品及び製品の増加72百万円、原材料及び貯蔵品の増加74百万円、建物及び構築物の増加54百万円に対し、受取手形及び売掛金の減少193百万円、その他流動資産の減少46百万円、建設仮勘定の減少117百万円が主な要因であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して160百万円減少し4,191百万円となりました。これは、賞与引当金の増加20百万円に対し、支払手形及び買掛金の減少106百万円、未払法人税等の減少33百万円、長期借入金の減少83百万円が主な要因であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して1百万円減少し12,884百万円となりました。これは、利益剰余金の増加110百万円に対し、為替換算調整勘定の減少114百万円が主な要因であります。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

単位：百万円

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	675	457	△217
投資活動によるキャッシュ・フロー	△487	△239	248
財務活動によるキャッシュ・フロー	△353	△291	61
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,905	3,529	△376

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は457百万円となりました。これはたな卸資産の増減額148百万円、法人税等の支払額228百万円などの減少に対して、税金等調整前四半期純利益471百万円、減価償却費187百万円、売上債権の増減額181百万円などの増加が主な要因です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は239百万円となりました。これは定期預金の預入による支出109百万円、有形固定資産の取得による支出124百万円の減少が主な要因です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は291百万円となりました。これは長期借入金の返済による支出83百万円、配当金の支払額194百万円の減少が主な要因です。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年2月13日の「2018年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,281,068	4,278,581
受取手形及び売掛金	2,399,282	2,206,030
電子記録債権	1,041,793	1,039,548
商品及び製品	1,601,725	1,674,502
仕掛品	670,243	634,448
原材料及び貯蔵品	705,088	779,285
その他	337,659	290,670
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	11,035,862	10,902,068
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,714,867	2,768,904
機械装置及び運搬具（純額）	425,459	375,156
土地	1,658,678	1,658,678
建設仮勘定	183,408	65,730
その他（純額）	283,848	348,061
有形固定資産合計	5,266,262	5,216,530
無形固定資産		
借地権	161,988	154,663
その他	52,629	57,615
無形固定資産合計	214,618	212,279
投資その他の資産		
投資有価証券	250,266	242,744
繰延税金資産	321,800	353,586
その他	148,852	148,835
投資その他の資産合計	720,919	745,166
固定資産合計	6,201,799	6,173,976
資産合計	17,237,662	17,076,045

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	798,095	691,791
短期借入金	900,000	900,000
1年内返済予定の長期借入金	166,400	166,400
未払法人税等	158,610	125,157
賞与引当金	35,550	60,461
役員賞与引当金	18,681	9,506
その他	836,964	848,483
流動負債合計	2,914,302	2,801,799
固定負債		
長期借入金	258,800	175,600
退職給付に係る負債	1,076,790	1,092,975
役員退職慰労引当金	3,838	3,952
資産除去債務	3,398	3,435
長期未払金	92,509	78,337
その他	2,000	34,964
固定負債合計	1,437,335	1,389,264
負債合計	4,351,637	4,191,063
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,461,735	1,461,735
資本剰余金	1,486,022	1,486,022
利益剰余金	9,921,426	10,031,886
自己株式	△291,290	△291,290
株主資本合計	12,577,893	12,688,354
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,974	18,332
為替換算調整勘定	386,263	271,363
退職給付に係る調整累計額	△102,107	△93,068
その他の包括利益累計額合計	308,130	196,627
純資産合計	12,886,024	12,884,981
負債純資産合計	17,237,662	17,076,045

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
売上高	5,350,420	5,158,867
売上原価	2,884,458	2,685,937
売上総利益	2,465,962	2,472,929
販売費及び一般管理費	1,968,079	2,001,670
営業利益	497,882	471,259
営業外収益		
受取利息	7,762	14,056
受取配当金	3,373	3,556
保険配当金	3,036	1,005
その他	4,356	8,510
営業外収益合計	18,529	27,129
営業外費用		
支払利息	3,678	4,053
為替差損	21,100	45,557
その他	7,795	661
営業外費用合計	32,574	50,272
経常利益	483,837	448,116
特別利益		
補助金収入	—	23,868
特別利益合計	—	23,868
特別損失		
固定資産売却損	14,708	—
特別損失合計	14,708	—
税金等調整前四半期純利益	469,129	471,984
法人税、住民税及び事業税	156,680	199,392
法人税等調整額	△29,126	△33,491
法人税等合計	127,553	165,901
四半期純利益	341,576	306,083
親会社株主に帰属する四半期純利益	341,576	306,083



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	341,576	306,083
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28,195	△5,641
為替換算調整勘定	△150,115	△114,900
退職給付に係る調整額	6,386	9,038
その他の包括利益合計	△171,923	△111,503
四半期包括利益	169,652	194,580
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	169,652	194,580
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	469,129	471,984
減価償却費	174,363	187,451
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△500	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	16,565	25,190
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7,546	△9,174
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	114	114
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	24,413	29,997
受取利息及び受取配当金	△11,135	△17,613
支払利息	3,678	4,053
有形固定資産売却損益 (△は益)	14,708	—
為替差損益 (△は益)	11,807	13,458
売上債権の増減額 (△は増加)	△10,647	181,359
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△126,013	△148,353
仕入債務の増減額 (△は減少)	148,154	△96,340
未払消費税等の増減額 (△は減少)	16,976	△73,917
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△13,882	52,509
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	79,468	57,769
その他	392	△7,167
小計	790,045	671,321
利息及び配当金の受取額	11,146	17,618
利息の支払額	△2,809	△3,238
法人税等の支払額	△123,257	△228,274
営業活動によるキャッシュ・フロー	675,123	457,427
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△166,400	△109,830
投資有価証券の取得による支出	△599	△599
有形固定資産の取得による支出	△311,300	△124,747
有形固定資産の売却による収入	3,379	—
有形固定資産の除却による支出	△7,460	—
無形固定資産の取得による支出	△5,064	△3,189
敷金及び保証金の差入による支出	△344	△994
敷金及び保証金の回収による収入	403	114
投資活動によるキャッシュ・フロー	△487,386	△239,246
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△376,270	△83,200
配当金の支払額	△176,773	△194,785
自己株式の取得による支出	△21	—
リース債務の返済による支出	—	△13,448
財務活動によるキャッシュ・フロー	△353,064	△291,433
現金及び現金同等物に係る換算差額	△43,399	△27,383
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△208,727	△100,636
現金及び現金同等物の期首残高	4,114,524	3,629,787
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,905,796	3,529,150

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

一部の在外子会社は、当第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号(リース)を適用しております。当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。